

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

## 中国のニードルコークス、黒鉛電極の市場動向

7月上旬、中国ニードルコークス（以下、「NC」）の市場価格はほぼ安定していた。石炭系 NC 価格は現状を維持したが、山東省の大手石油系 NC 企業が約 500 元/トン（1.02 万円/トン、1 元=20.38 円で換算）値上がりした。

7月8日時点の価格は下記の通りである。

### ● 中国国産 NC 価格（1 元=20.38 円で換算）

- 石炭系 NC は 12,500~14,500 元/トン（25.48~29.55 万円/トン）
- 石油系 NC は 14,000~15,800 元/トン（28.53~32.20 万円/トン）
- 石油系生コークスは 9,000~11,500（18.34~23.44 万円/トン）

### ● 輸入 NC 価格（1 ドル=136.20 円で換算）

- 日本の石炭系 NC は 1,900~2,000 ドル/トン（25.88~27.24 万円/トン）
- 韓国の石炭系 NC は 1,850~1,950 ドル/トン（25.20~26.56 万円/トン）
- 英国の石油系 NC は 2,100~2,400 ドル/トン（28.60~32.69 万円/トン）
- 日本の石油系 NC は 2,800~3,200 ドル/トン（38.14~43.58 万円/トン）
- 負極用コークスは 1,300~1,600 ドル/トン（17.71~21.79 万円/トン）

NC の原料を見ると、石炭ピッチと良質なオイルスラリーがともに高値で推移した。これは最近の数年間に生産開始した NC 新規企業の多くは原料の前処理技術水準が低いため、良質な低硫黄分オイルスラリー需要が増えたことが価格を押し上げた。

下流市場では、引き続き黒鉛電極の市場価格が値下がりした。7月8日時点で、UHP450mm 規格黒鉛電極（NC 含有量が 30%）の価格は約 23,000~24,000 元/トン（46.87~48.91 万円/トン）、UHP600mm 規格はおよそ 26,500~27,500 元/トン（54.01~56.05 万円/トン）、UHP700mm 規格は 30,500~31,500 元/トン（62.16~64.20 万円/トン）だった。

表 1 中国の黒鉛電極の価格（7月8日）

1 元=20.38 円で換算

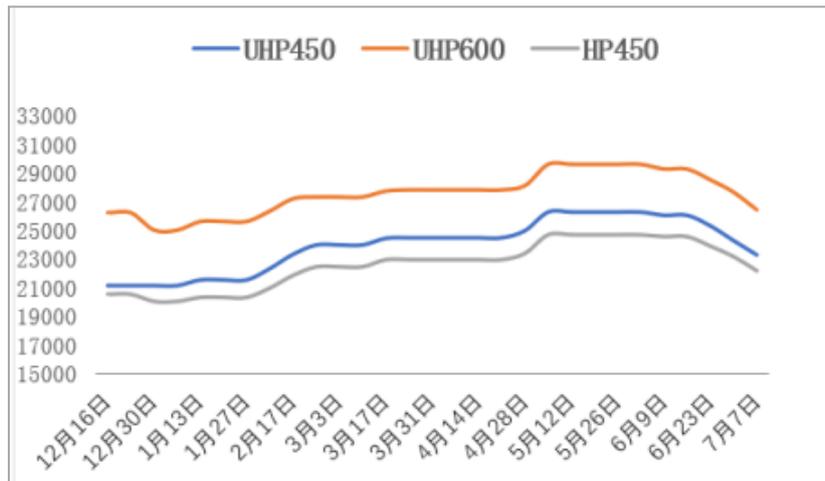
規格	価格（トン当たり）		対前月比	対前週比
	人民元（万元）	日本円（万円）		
UHP600	2.63	53.60	▽4.5%	▽9.8%
UHP450	2.33	47.49	▽4.1%	▽10.6%
HP450	2.22	45.24	▽4.3%	▽9.8%

出典：ICC 資訊により CMI 整理

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683



出典：ICC 資訊

図1 黒鉛電極の価格推移（2021年12月～2022年7月）

下流の鉄鋼企業は利益率が低い状態が続いたため、設備利用率が40%まで下がった。多くの高炉と電気炉は生産停止や保守点検が実施され、黒鉛電極需要は低い状態である。また、黒鉛電極企業は原料である石油コークスの価格上昇をうけ、稼働率を下げ、NCの需要削減につなげている。

短期的には、一部の黒鉛電極メーカーはコスト上昇と需要削減を背景にして、生産量を削減して価格を維持しているが、長期的には、国の「経済を安定させ、成長を維持する」政策を基に、鉄鋼企業の稼働率が上がり、黒鉛電極需要が増える見通しである。

情報源：ICC 資訊より。